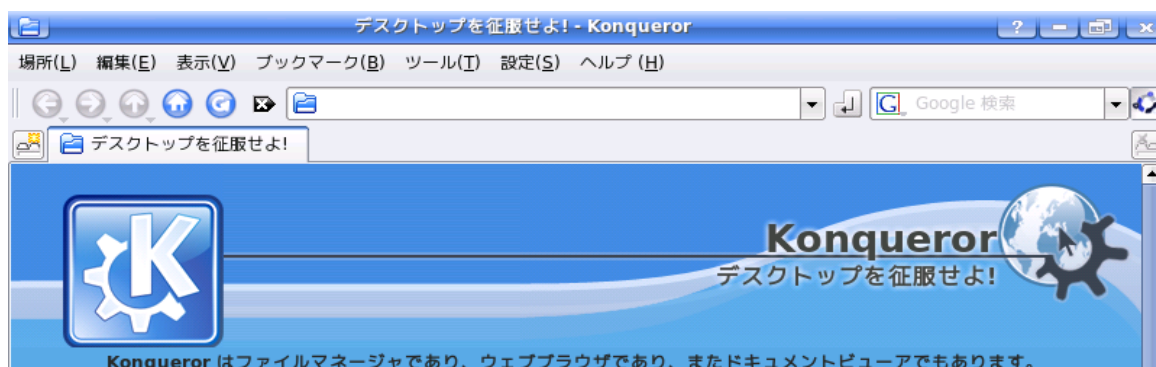
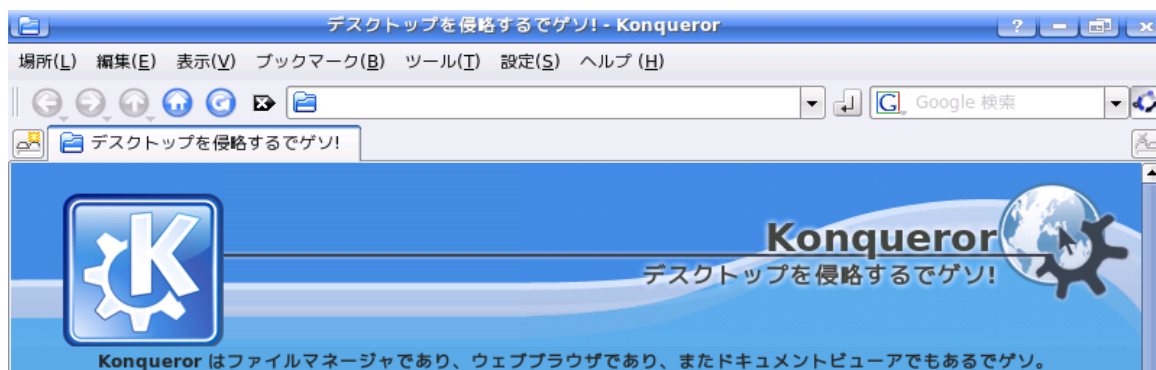


デスクトップを侵略しなイカ？

KDE3 系の Konqueror では、スタートページにこんなメッセージが表示されます。



KDE や GNOME は gettext という枠組みで国際化されており、簡単にメッセージを変えられます。



以下のような内容のファイル(メッセージカタログ)があり、原文と翻訳がセットで書かれています。

```
msgid "Conquer your Desktop!"
msgstr "デスクトップを征服せよ!"
```

これを書き換えるだけです。

```
msgid "Conquer your Desktop!"
msgstr "デスクトップを侵略するでゲソ!"
```

たとえば、以下のような手順で OK。

```
$ msgunfmt /usr/share/locale/ja/LC_MESSAGES/konqueror.mo -o konqueror.po
$ emacs konqueror.po
# msgfmt konqueror.po -o /usr/share/locale/ja/LC_MESSAGES/konqueror.mo
```

翻訳プロジェクトでは、この「メッセージカタログ」を作る作業をしています。

テキストエディターでも編集できますが、翻訳支援ツールを使うと効率化できます。OSC 広島では OmegaT という翻訳支援ツールの出展があるので、中の人に質問すれば何でも答えてくれるはず。せっかくだから翻訳支援ツールを使ってみませんか? (OmegaT は Windows でも動きます)

がんばって書き換えるでゲソ！

インストール直後の Ubuntu 11.04 Desktop 日本語 Remix には、gettext の日本語メッセージが 13 万個ほどあります。全部書き換えればイカっぽい Ubuntu のできあがりです。

もうちょっとかための説明は、裏面にあります。

Doc-ja Archive Project について

Doc-ja Archive Project は、ソフトウェアのマニュアルなどの技術文書を日本語に翻訳する作業を行なっている人々に対して、情報交換の場を提供することを目的としたプロジェクトです。

現在、オープンソースソフトウェアの開発プロジェクトで行なわれている各翻訳プロジェクトに代表されるように、大小さまざまな翻訳プロジェクトが存在します。こういった翻訳プロジェクトにおいては、ボランティアによる作業が中心となるため、成果物の管理や用語の統一問題など、翻訳作業そのものよりも文書管理の負担が大きく、規模が大きくなればなるほど、維持することが大変になります。

さまざまな工夫により、その管理の効率を向上させたり、翻訳作業を簡単にできるようにしているプロジェクトもあるのですが、ソースによって技術が流通するソフトウェア開発と異なり、翻訳作業の場合、あるプロジェクトにおけるノウハウを、他のプロジェクトと共有する機会がありません。そのため、いわゆる「車輪の再発明」が頻繁に行なわれている現状があります。

このプロジェクトは、翻訳に興味のある個人、個々の翻訳プロジェクトで活動されている方々などの間で、特定の翻訳プロジェクトに属さない立場での交流の場を提供するものです。また、「個人的に技術文書を翻訳した／ているけど、公開場所や保守に困っている」という方や、「翻訳を補助するツール、フレームワークの開発に興味がある」方も、ぜひこのプロジェクトへ参加ください。

web サイト

<http://openlab.ring.gr.jp/doc-ja/>
メーリングリストのアーカイブ

<http://mail.ring.gr.jp/doc-ja/>

twitter ハッシュタグ

#docja

BoF 開催のお知らせ

11月19日から20日にかけて開催されるオープンソースカンファレンス 2011 Tokyo/Fall のセミナー枠で、BoFを開催します。翻訳に関心のある方の参加をお待ちしています。

複数人数で作業する際の訳語等の統一や、複数プロジェクト間での訳語等の統一などについて議論したいと考えていますが、詳細は未定です。内容に関する提案や要望を歓迎します。

OSC 広島出展担当: 岡野 (@okano_t)

懇親会にも出席します。お気軽にお声がけください。